

## 2008 年度 WG 活動成果報告

(2009 年 2 月 25 日作成)

WG 名	インターネット WG		主 査 名：三辻和弥 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	災害委員会		委員長名：林 静雄
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害発生時に WEB ページを作成し、運営管理を行う。</li> <li>・ WEB ページを用い災害発生時に情報を学会内外に発信する。</li> <li>・ 災害時のみならず、災害委員会で実施する企画に関する情報をも発信する。</li> <li>・ 当 WEB は効率的な災害調査の為の Key-Station とする。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 北海道支部：高井伸雄（北海道大学）、東北支部：三辻和弥（東北大学） 関東支部：山村一繁（東京都立大学）、北陸支部：田守伸一郎（信州大学） 東海支部：川口 淳（三重大学）、近畿支部：田村修次（京都大学） 四国支部：中田慎介（高知工科大学）、中国支部：神野達夫（広島大学） 九州支部：高山峯夫（福岡大学） 災害委員会：久田嘉章（工学院大学） 協力支援者：柴山明寛（東北大学）		
2007 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：あり HP アドレス： <a href="http://wiki.arch.metro-u.ac.jp/saigai/">http://wiki.arch.metro-u.ac.jp/saigai/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	災害発生時に随時インターネット上で開催、また 2008 年は日本建築学会大会（広島）の際に開催した。（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 災害委員会としての情報発信を担っており、委員会内外からの災害時および平時の柔軟な要請に対応している。
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 上記 HP ( <a href="http://wiki.arch.metro-u.ac.jp/saigai/">http://wiki.arch.metro-u.ac.jp/saigai/</a> ) において情報発信を実施しており、迅速に対応している。 2. 2008 年は中国四川省地震、岩手・宮城内陸地震、ミャンマー水害、2009 年 1 月にはインドネシア・パプアニューギニア付近の地震等で情報発信を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 予算の関係上、委員会を開催できず、通常学会大会時に委員会を実施しているが、学術講演会との関係上、十分な時間を取ることが困難である。 2. 迅速な HP 更新を実施するために、Wiki システムを導入しているが、サーバーの管理等、負担が特定委員に集中してしまう。 3. 設置目的の性格上期限を決められるものではないが、今後も、災害発生時に各種情報を如何に迅速・明確に発信できるかが課題である。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。